

平成 25 年度 事業報告



今年度の最重要事項として、すべての学生が4年間無事に学業を続け、社会に受け入れられる人材に成長して卒業し、全員が就職できるよう、教職員一丸となって、徹底した指導と援助を行います。



教育面では3つの学部の連携を深めて「芸術科学大学」を実体化し、一般教養教育の内容を更に改善し、遠隔地通信教育システムを使って岡山理科大学および千葉科学大学との教育連携を強化して、学生がさらに幅広い知識と教養を身につけられるように努めました。

研究面では教員全員が科学研究費補助金の申請を行うことで、研究に対する意識をさらに向上し、研究の成果を教育に還元できるよう努めました。

地域との連携では、平成24年度に設置した外部諮問委員会を平成25年度も継続して、外部のご意見を大学運営に反映させる努力を続けると共に、外部から最大限の援助を頂けるよう努力しました。

経営面では、広報活動の強化、高大連携の強化などによる入学定員の確保、そして教員対学生比の是正に努めました。

2年後に創立20周年を迎えるにあたり、これまでの20年を厳しく点検評価し、次の20年の発展のための行動計画の策定を行いました。

倉敷芸術科学大学 学長 唐木 英明

教学の充実

■キャリア教育

平成18年度から3年間、現代GPで培ったスキルをもとにさらに発展させ、「倉敷まちづくりプログラム」と位置づけ、前年度に引き続き前に踏み出す力、チームで働く力、考え抜く力を養うための職務体験を通して、課題発見力・実行力・状況把握力等、自らの役割を見つけ、積極的に自立・挑戦していけるキャリアの形成や社会人に求められる基礎的能力を高める教育を実践に努めました。また、キャリア教育の根幹充実を図るため、就職率強化に向けた学生就職意識向上のために、全学的に今年度から新たにワーキンググループを編成し、今後のキャリア教育支援について検討しました。

■産学連携教育

倉敷市の推進する中心市街地活性化事業や経済産業省所管の戦略的中心市街地商業等活性化支援事業と協力し、都市づくり、産業、観光振興など地域と連携した人材育成に努めました。また、デザイン・映像分野では企業や行政機関から依頼される製品デザイン・CM・アプリケーションの製作により、学生の意欲向上をめざした生きた課題授業を実践しました。

■高大連携教育

文部科学省SSH(スーパーサイエンスハイスクール)採択校の岡

山県立玉島高等学校とはIT科学や生命科学分野、岡山県立総社南高等学校・香川県立高松工芸高等学校および広島県立熊野高等学校とはキャリア教育や美術工芸分野、岡山理科大学附属高等学校、吉備高原学園高等学校、英数学館高等学校とは美術工芸、デザイン、アニメーション、IT科学分野などでの連携を引き続き行ない、大学、高校間の境目のない接続教育と本学の教育理念「芸術と科学の協調」の実現に努めました。また、11月22日に新たに倉敷高校と教育提携を結び、倉敷文化を担う人材の育成を行っています。

■高知県北川村との包括連携協定の締結

10月24日フランスの印象派画家クロード・モネの自宅庭園を再現した観光施設「モネの庭」がある高知県北川村と包括連携協定を結び、素晴らしい創作環境を活用し、学生がさまざまな社会経験を積ませることができる教育の場として活用しています。

■初年次教育

昨年度に続き、学習支援センターを中心に入学前の新生生に対し、「Learning Support(入学前教育課題集)」を作成、送付し、新生生が大学生生活に期待や希望を抱いて入学できるよう、入学前準備教育を充実させました。入学後は、1年次対象に前・後期、基本英語・基本数学・基本化学・基本物理の4科目8単位の修得を可能とし、学生一人一人の学力に応じた個別相談ができる態勢を加えることにより、初年次教育を充実させるよう努めました。

■「鈴木章ケミストリーネットワーク」の創設と化学教育

化学教育の普及をめざして、平成24年5月に設立された「鈴木章ケミストリーネットワーク」の記念講演会(通算3回目)を4月4日ノーベル化学賞受賞者鈴木章本学特別名誉教授を招き開催しました。年度内に多才な講師陣による公開講演会を開催し、同ネットワークの在学生向けプログラム(Human Resource Development Program)を設置し、本学生命科学科の学生の中から研究職に就きたい人材を発掘し、一定の期間内の育成が可能かを検証しました。

■鍼灸ケアセンター

平成22年にオープンしましたヘルスピーア倉敷にて、倉敷芸術科学大学生命科学部健康医療学科の学生が鍼灸ケアセンターを実習利用し、相互の連携を深めています。平成25年3月12日に鍼灸治療院を開院し、倉敷芸術科学大学有資格教員が下記の日程にて外部診療を行い、次年度以降も継続して行っています。

毎週火・木曜日、第3金曜日

9:30~13:00、14:00~18:00



教育改革支援

■大学コンソーシアム岡山

大学コンソーシアム岡山は、岡山県内の高等教育機関の連帯と相互協力により、持てる知的資源を積極的に活用し、また、地域社会および産業界との緊密な連携推進によって、「時代に合った魅力ある高等教育の創造」と「活力ある人づくり・街づくりへの貢献」を目指し、平成18年4月に設立されました。この大学コンソーシアム岡山では、上記目的達成のため、岡山県内の16大学が連携し、(1)大学相互の協力と情報交換、(2)地域社会との交流と生涯学習の推進、(3)地域高校との連携、(4)地域創生学の構築、(5)地域発信による国際交流を行っています。本学は連携の中で、相互単位互換としてE-learningで開設する倉敷まちづくり科目を3科目提供しました。

■産業界のニーズに対応した教育改善

平成24年度文部科学省選定、産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業に応募した「産

業界等との連携による中国・四国地域人材育成事業」が厳正な審査の結果採択になりました。この事業は中四国の18大学が連携し、地元の企業、経済団体、地域の団体や自治体等と産学協働のための連携会議を形成して取組を実施することにより、社会的・職業的に自立し、産業界のニーズに対応した人材の育成を図ることを目的としています。具体的に本学では(1)インターンシップの充実、(2)キャリア教育の充実、(3)学生マイスター制度の充実、(4)e-ポートフォリオの充実の4つの取組を中心に事業を展開しました。取組の概要は、<http://www.kusa.ac.jp/competitive-funds/cultivation/> を参照。

地域社会貢献

■倉敷みらい講座の開講

産業科学技術学部14名の教員による市民向けの公開講座を7月より月1、2回計15講座を倉敷まちづくりセンターや倉敷美観地区内施設を会場に開講しました。

学科・専攻等新設

■芸術学部 メディア映像学科

マンガ・アニメ専攻、ゲーム・Webデザイン専攻に加えコミックイラスト専攻、さらに映像・写真専攻に変わり映像・放送専攻の4専攻を設置し、進化するメディア環境に対応した専門性の高い指導でジャンルを超えた幅広い基礎教育によるメディア技術とコンテンツビジネスを総合的に理解させ、質の高いコンテンツを創造するクリエイターを育成しています。

申請・届出関係

■学部・学科組織

芸術学部において、従来のデザイン学科に美術工

芸学科を統合し、デザイン芸術学科とし、メディア映像学科と併せて2学科としました。産業科学技術学部においては、経営情報学科に観光学科を統合し、観光コースとして教育内容を引継ぎ1学科としました。生命科学部においては、従来の生命動物科学科を動物生命科学科に名称変更および健康科学科に健康医療学科を統合し、健康科学専攻と鍼灸専攻の2専攻を設置しました。鍼灸専攻については、従来の健康医療学科の教育内容を引継ぎ、学部全体を4学科としました。

キャリア支援

■就職ガイダンス・就職対策講座等

就職ガイダンスは、1年次生、2年次生の低年次を対象に年次毎に数回開催しました。早期から学生の就職に対する意識の向上を促し、3年次生対象ガイダンスへ移行できるようにしました。3年生前期からは、4年次生の内定者報告会をはじめ、マナー・メイク講習、個人/集団面接トレーニングや集団討論トレーニングなども取り入れて実施しました。就職対策講座を12月に実施し、履歴書作成や小論文対策等を集中的に実施しました。また、公務員採用試験対策講座を通年で実施し、公務員希望者を支援しました。

■職業適性等

3年次生対象に、年2回(7月・10月)SPI適性模擬検査を実施し、学生が自分の基礎能力を知ることにより、採用試験に向けた対策に反映しました。また、11月には就職実践模試(一般常識・基礎学力テスト)やエントリーシート攻略テストを実施するなど、実際の就職試験に備えました。

■就職支援

就職関連情報を、学内主要箇所に設置した大型表示モニターにリアルタイムで表示するとともに、学生の携帯電話やパソコンにメールで配信し、適時に情報を提供しました。また、学生は本学向け求人情

報をキャリアセンターホームページや携帯サイトで閲覧できるほか、学生控室に設置した求人情報検索用タッチパネルでも常時閲覧可能としました。さらに、就職活動の質問、不安、悩みなどの質問ができるように、24時間メールにて学生対応にあたりました。採用試験に向けた面接指導や履歴書指導のほか、就職に関する相談もキャリアセンターで随時受付し、学生に対するきめ細やかな就職支援を行いました。

■就職懇談会

企業担当者と教職員が情報交換を行う、加計グループ合同の就職懇談会を、東京（11月）、広島・大阪（3月）で開催し、就職先の開拓や採用情報の入手に努めました。また、2月には企業担当者を本学に招いて行う学内就職懇談会を開催し、参加企業と学生との面談会、教職員との情報交換会を実施しました。

受賞・課外活動

■主な受賞

- 第47回日本伝統工芸染織展 入選1名
- 第56回日本伝統工芸中国支部展 入選1名
- 2013京展 入選4名
- 第64回岡山県美術展覧会
 - 洋画部門 入選1名
 - 日本画部門 岡山県教育長賞、県展賞2名
 - デザイン部門 山陽新聞社賞、県展賞1名、入選6名
- 工芸部門 岡山県知事賞、県展賞1名、入選2名
- 第27回日本煎茶工芸展 入選1名
- 地域発デジタルコンテンツ（総務省総合通信局主催）
 - 総務大臣奨励賞 メディア映像学科映画・CMコース
- 第7回バトトリック国際ショナルカップ 団体銀メダル
- 第31代倉敷小町（倉敷観光PR大使）任命

■部活動報告

- 弓道部

第61回全日本学生弓道選手権大会
個人戦出場2名

○柔道部

第68回国民体育大会 岡山県代表
成年男子1名選出

○バスケットボール部

(男子)中国大学バスケットボール選手権春季大会 3位
中国大学バスケットボール選手権秋季大会 2位
第65回全日本大学バスケットボール選手権大会出場
第68回国民体育大会 岡山県代表
成年男子1名選出

(女子)中国大学バスケットボール選手権春季大会 2位
中国大学バスケットボール選手権秋季大会 優勝
第65回全日本大学バスケットボール選手権大会出場
第68回国民体育大会 岡山県代表 成年女子3名選出、広島県代表 成年女子1名選出

○陸上部

第34回中四国私立大学対抗陸上競技選手権大会
女子4×100m 優勝、女子4×100m 2位、女子400m 3位、女子砲丸投げ 3位、女子円盤投げ 3位

○フィギュアスケート同好会

第7回西日本学生フィギュアスケート選手権大会
団体総合3位、個人男子1位、個人女子12位
フィギュアスケート日本代表ジュニア世界大会（スロバキア大会、チェコ大会）金メダル
第82回全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会 優勝
ISUグランプリファイナル国際フィギュアスケート競技大会2013
ジュニア男子シングル4位
第82回全日本フィギュアスケート選手権大会 8位

学生募集

■重点地区を強化した広報戦略

昨年からの県内（地元）を重視した募集活動を継続して展開し、さらなる志願者の増加をめざしました。一昨年からの福岡で開催している合同説明会において、3年目という節目で、入学者増となるよう早期の企画発案、各高校への呼びかけを強化しました。

■資料請求者アップ対策

志願率の高い資料請求者の数を増やすことを目的に、今年度は資料請求受付システムに新規参画しました。さらに、各学部学科の分野に関心を持つ生徒を対象とした、業者企画のDMによる幅広い情報発信も展開し、多方面からの請求者アップを目指しました。

■関心度アップ対策

資料請求者へさらなる関心を持ってもらうよう、大学トピックス(芸科大通信)チラシやDMをタイムリーに発信することにより、接触回数を増やし関心度アップを狙いました。

■合格者対象説明会

合格者に対しての説明会(11/16、2/15)を実施し、アパート、奨学金など合格者やその保護者の抱える疑問や不安を解消し、歩留まりの強化に努めました。

■知名度アップ対策

大学の体育館南側壁面にLED照明の大型大学名看板を設置しました。また、新倉敷駅・倉敷駅に看板を設置および倉敷市民を対象とした市民生活便利帳に広告を掲載し、地元知名度のアップをめざしました。

人事・組織関係

■学長顧問・副学長・学部長等の改選

任期満了に伴い、学長顧問、副学長、副学長補佐、学部長、研究科長の改選が行われました。学長顧問は、土井章氏(再任)、副学長には、加計悟氏(再任)、藤原敏勝氏(再任)、副学長補佐には、萬代忠勝氏、また、芸術学部長・芸術研究科長は、児島塊太郎氏、産業科学技術学部長・人間文化研究科長には、小山悦司氏、生命科学部長・産業科学技術研究科長には、宮野善盛氏(再任)が4月1日より就任しました。

■別科

諸外国からのわが国への留学希望者の諸々の要因による激減に伴い、神戸留学生別科を平成26年3月31日を持って廃止しました。また、調理師別科については、当該在学生在が卒業したため、平成26年3月31日付で廃止しました。

学内環境整備

■厚生施設(食堂)の改修整備

食堂を一部増設・改修し、4月より運用を開始しました。学生が食事の時間のみの利用に限らず、グループ学習の場、友人と会話を楽しむコミュニティの場としての多機能利用を可能にした施設に整備しました。

内部質保証

■外部諮問委員会

学長の諮問機関として、4分科会25名からなる外部諮問委員会において、関係機関との緊密な連携のもと、大学を取り巻く状況と課題を確認し検討を進めました。次年度以降は、答申を踏まえ円滑な施策の展開を図ります。

主な行事

4月4日	入学前オリエンテーション
4月5日	入学宣誓式
4月6日 ～10日	新入生・在学生オリエンテーション
4月7日	大学院(通信制)入学宣誓式
4月11日	前期授業開始
4月13日	霞祭
6月9日	来て見ん祭(オープンキャンパス)
7月27日 28日	オープンキャンパス、教員免許状更新講習会
8月1日	前期定期試験

～7日	
9月14日	教育懇談会(地方会場)
9月21日	教育懇談会(本学会場)
9月23日	学部学位記授与式、留学生別科1年半コース入学宣誓式
9月24日	後期オリエンテーション

9月25日	後期授業開始
9月28日	オープンキャンパス
10月26日 27日	芸科祭
11月20日	就職懇談会(東京会場)
2月4日 ～8日	後期定期試験
2月12日	就職懇談会(本学会場)
3月7日	就職懇談会(広島会場)
3月14日	就職懇談会(大阪会場)
3月23日	学位記授与式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成25年5月1日現在)

研究科・学部・学科名		入学定員	入学者数		収容定員		在学者数		秋期入学 ※	
			留学生	社会人			留学生	社会人		
大 学 院	芸術研究科(博士)	4	3	0	0	12	12	3	1	
	芸術研究科(修士)	20	7	0	0	40	13	0	0	
	産業科学技術研究科(博士)	4	0	0	0	12	4	0	0	
	産業科学技術研究科(修士)	16	13	0	0	32	16	0	0	
	人間文化研究科(修士)	15	4	2	0	30	9	7	0	
大学院 計		59	27	2	0	126	54	10	1	0
芸 術 学 部	美術工芸学科	35	14	0	0	145	90	2	0	
	メディア映像学科	35	49	2	0	132	168	10	0	
	デザイン学科	35	27	1	0	135	124	2	0	
計		105	90	3	0	412	382	14	0	0
技 産 業 学 部	IT科学科	(募集停止)	—	—	—	30	19	1	0	
	起業経営学科	(募集停止)	—	—	—	30	20	14	0	
	経営情報学科	50	29	5	0	162	107	49	0	
	観光学科	45	14	6	0	182	99	52	0	
計		95	43	11	0	404	245	116	0	0
生 命 科 学 部	生命科学科	45	59	0	0	180	195	1	0	
	健康科学科	55	66	0	0	225	222	0	0	
	生命動物科学科	65	65	0	0	270	279	0	0	
	生命医科学科	50	54	0	0	190	211	0	1	
	健康医療学科	30	15	0	0	90	45	0	2	
計		245	259	0	0	955	952	1	3	0
学部 計		445	392	14	0	1,771	1,579	131	3	0
通学制 合計		504	419	16	0	1,897	1,633	141	4	0
大 学 院 (通 信 制)	芸術研究科(修士)	10	0	0	0	20	2	0	2	
	産業科学技術研究科(修士)	20	0	0	0	40	0	0	0	
	人間文化研究科(修士)	30	2	0	2	60	6	0	6	
計		60	2	0	2	120	8	0	8	0
学部 (通 信 教 育 課 程)	産業科学技術学部	(募集停止)	—	—	—	—	2	0	0	
計		—	—	—	—	—	2	0	0	0
通信制 合計		60	2	0	2	120	10	0	8	0
総合計 (通学制+通信制)		564	421	16	2	2,017	1,643	141	12	0
別 科	留学生別科	60	3	3	—	80	9	9	—	25
	神戸留学生別科	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	調理師別科	40	3	0	0	40	3	0	0	
	製菓衛生師別科	40	8	0	0	80	21	0	0	
別科計		140	14	3	0	200	33	9	0	25

※ 秋期入学については、5月2日以降(平成25年5月2日～平成26年3月31日)に入学した者です

(単位:人)

■ 卒業生数等一覧

(平成25年度)

区分		修了者・ 卒業生	満期 退学	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
大学院	博士	3	3	3	3	100%	-			2
	修士	14	-	7	7	100%	1			0
学部		399	-	291	268	92%	24			26
大学院（通信制）		5	-	-	-	-	-			0
学部（通信教育課程）		0	-	-	-	-	-			2
別科	留学生	8	-	-	-	-	8	1		0
	調理師	3	-	2	2	100%	-			0
	製菓衛生師	11	-	11	6	55%	-			0

※ 修業年限を超えて在籍している学生数（平成26年4月1日現在）

（単位：人）

主な就職先	(株)イマジカデジタルスケープ、東映アニメーション(株)、(株)両備システムズ、EBM(株)、岡山薬品工業(株)、広島和光(株)、新日本科学(株)、ヤスハラケミカル(株)、(株)農協観光、はるやま商事(株)、神戸赤十字病院、心臓病センター榊原病院、イオンペット(株)、(株)グラスアート黒木、菅原工芸硝子(株)、岡山県警本部、平塚市消防本部、丸亀市消防本部、日航ホテル倉敷、児島ホテル、バーカリーベリイズ、コロソパージュ、(株)フルミッシュ、(有)光商会、Honda Cars
-------	--

■ 教職員数

(平成25年5月1日現在)

学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	別科講師	教員計	事務職員
1	2	66	24	13	6	1	6	119	64

(単位：人)

財務関係

■消費収支

(単位：千円)

科目	年度	25年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入		2,479,088	2,536,518
補助金収入		492,515	503,355
その他収入		277,807	105,852
帰属収入合計		3,249,410	3,145,726
基本金組入額合計		△ 74,947	△ 198,390
消費収入の部合計		3,174,463	2,947,336
人件費		2,345,625	2,135,710
教育研究経費		989,473	997,344
管理経費		252,886	253,244
その他支出		35,941	19,022
消費支出の部合計		3,623,925	3,405,320

■施設設備整備

(単位：千円)

事業名	金額
1号・2号棟空調機更新	58,800
13・16号芸術学部棟空調機更新	18,417
16号棟1階4155室透過電子顕微鏡 用設置室工事	15,120
16・11号棟ろくろ演習・実習室改修工 事	5,150
大学名看板設置工事	16,995
疑木階段設置	715
厚生会館机、椅子	9,700
セルソーター (補助内定額：51,765)	77,648
健康医療学科機器	3,950
健康医療学科図書	400